



The bridge to possible

シスコオンラインセミナー シスコ クラウド&システム管理 ソリューション「Intersight」 入門編

2021 / 04 / 21

Takayuki Tanaka (takaytan@cisco.com)

Sr. Product Sales Specialist

Data Center/ Virtualization Operations

Cisco Systems, G.K

Intersightのビジョン



そもそもIntersightとは？

以前は、オンプレミスのハードウェアをクラウドから統合管理する SaaSサービスでした

直感的



エンハンス
サポート



プロアクティブ
ガイダンス



セキュリティ
スケーラビリティ



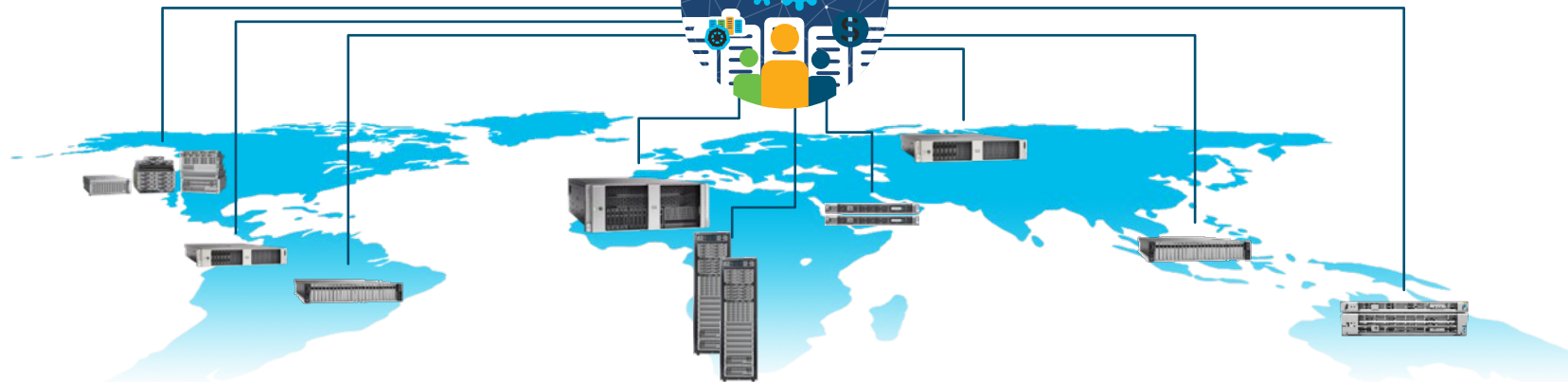
SaaS または
Appliance



SaaS による提供
シンプルなツール



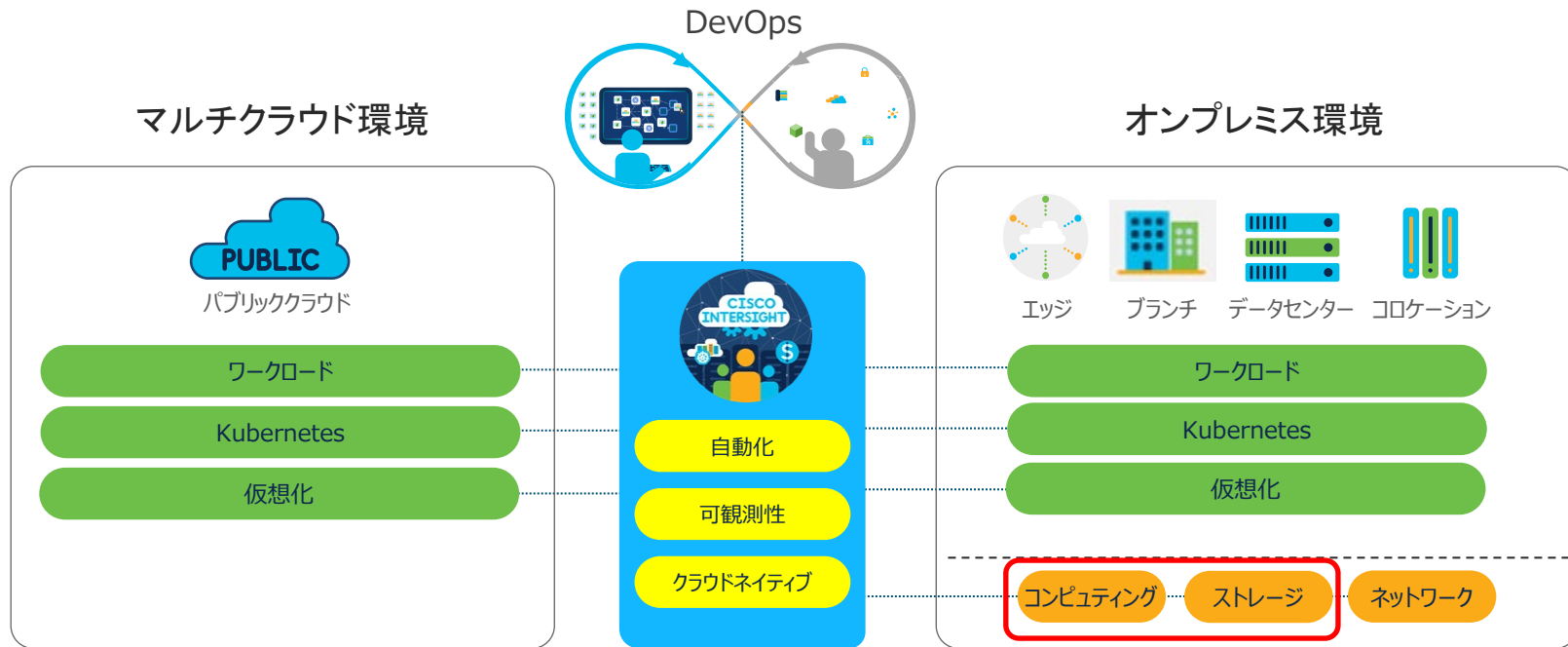
サーバ管理アクション
インテリジェンス



インターネット環境さえあれば、どこからでもアクセス可能

Intersightのビジョン

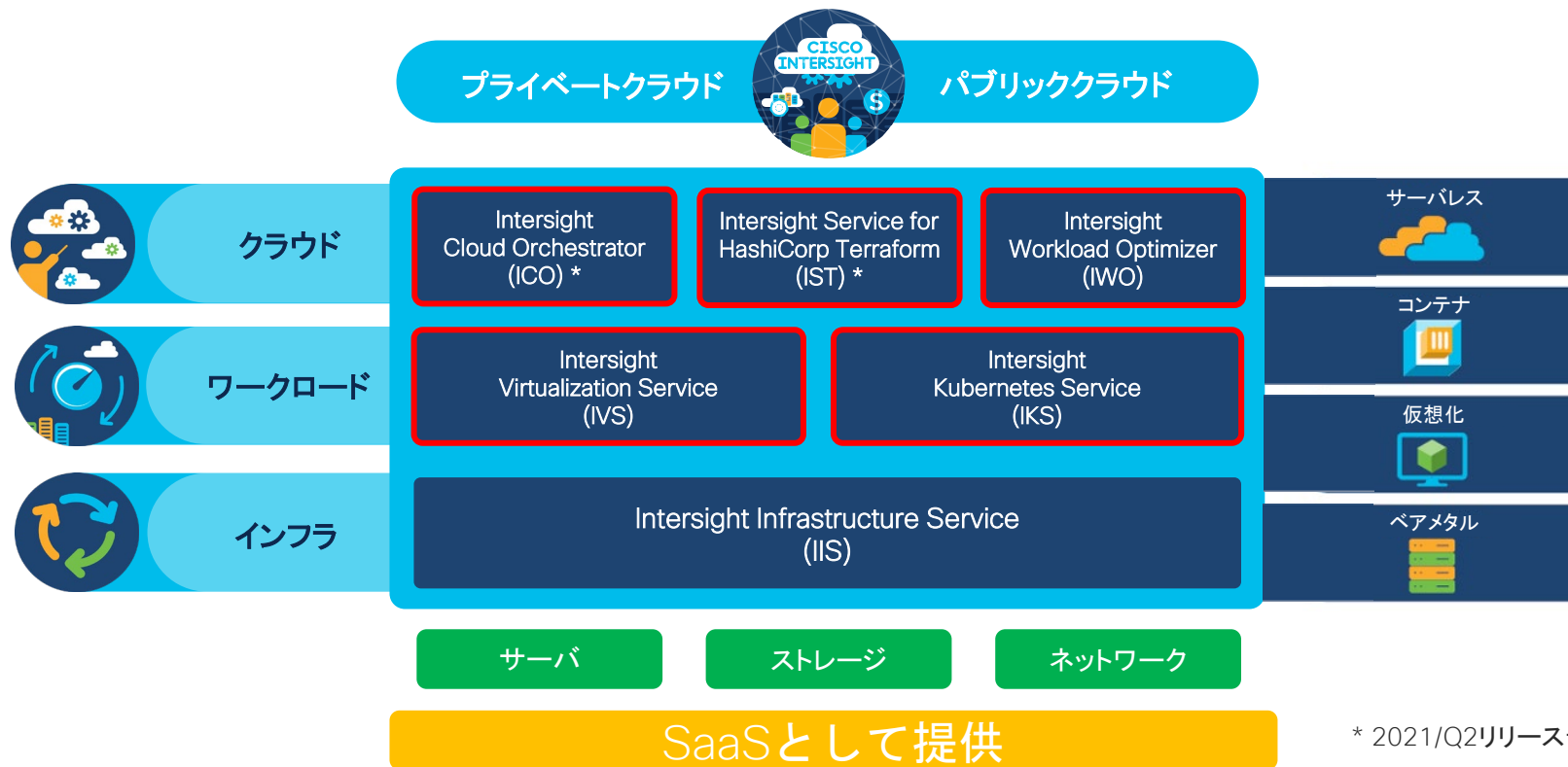
現在は、SaaS型ハイブリッドクラウドオペレーションプラットフォームです。



従来の対応範囲

アプリケーションを、任意のプラットフォームと場所に展開し、最適な状態で運用管理可能

Intersightを構成するサービス



* 2021/Q2リリース予定

Intersightサービスの役割



インフラストラクチャ



仮想化



コンテナ



Infrastructure as Code



オーケストレーション



アプリケーションリソースの最適化



Edge



Branch



Data center



Colo



Public Cloud

Intersight Infrastructure Services (IIS)

Intersight Virtualization Service (IVS)

Intersight Kubernetes Service (IKS)

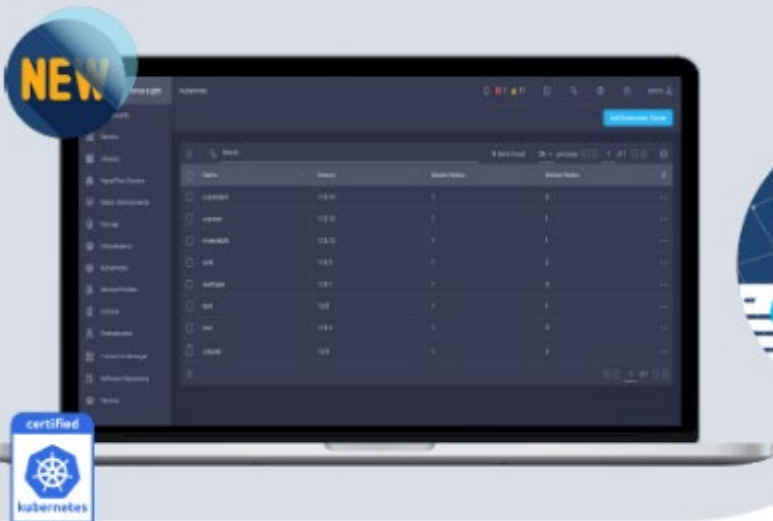
Intersight Services for HashiCorp Terraform (IST)

Intersight Cloud Orchestrator (ICO)

Intersight Workload Optimizer (IWO)

Intersight Kubernetes Service (IKS)

柔軟ですぐ使えるプラットフォームにより、本番利用可能なKubernetesの運用を実現



ネイティブKubernetes対応
本番利用可能な、堅牢でセキュアな環境

検証済みですぐに使えるコンテナ・インターフェース
Network/ Storage/ Load blancing/ GPU

厳選されたアドオン(オープンソース/ 他社製)
Logging/ Mornitoring/ Registry/ Service Mesh

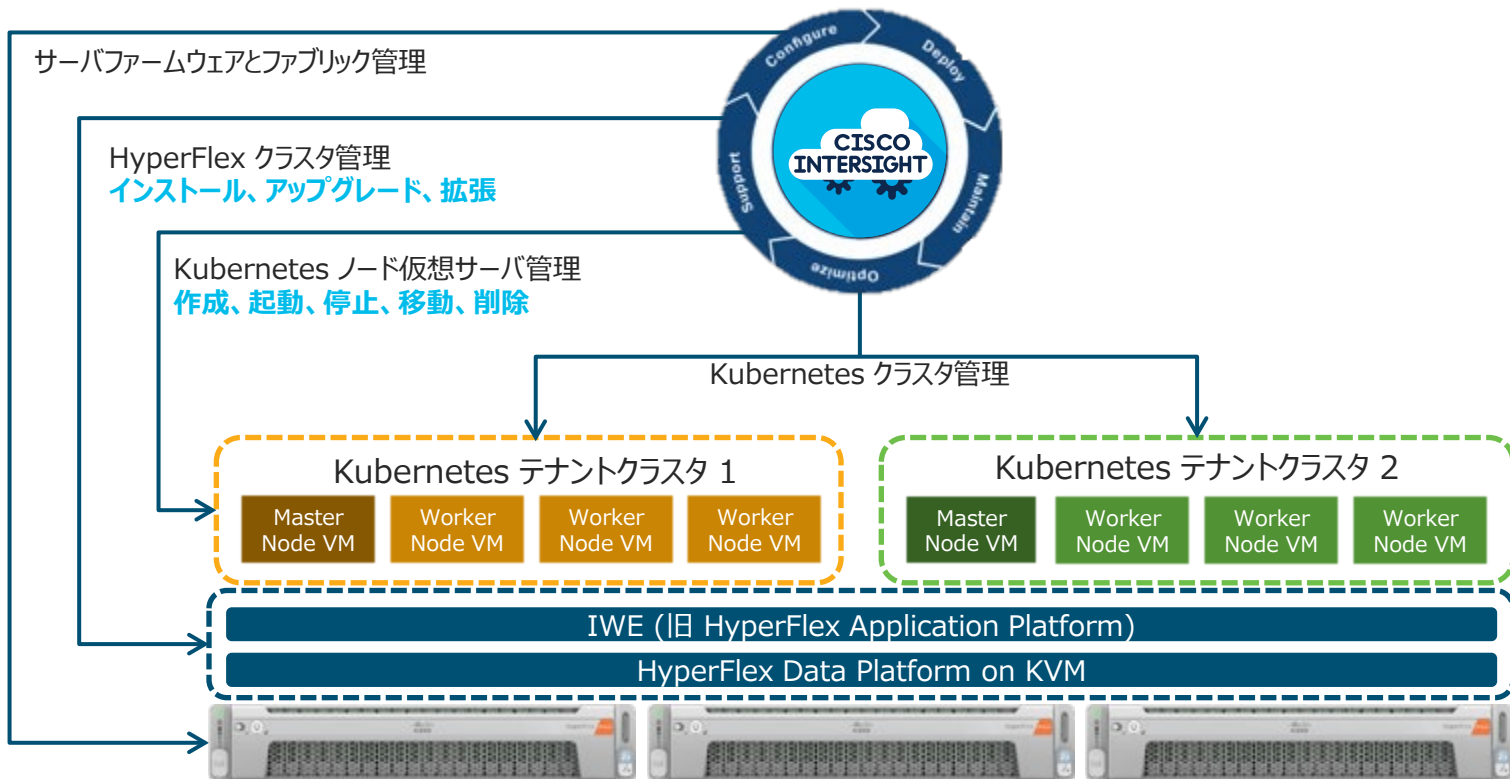
オンプレ環境へ、迅速かつ容易に
Kubernetes環境を構築

インストラーや管理マネージャが
不要な為、運用管理が容易

将来的に、全てのKubernetesの
運用管理を簡素化 & 一元化

Intersight Kubernetes Service (IKS)

Intersight Workload Engine (IWE)を2021年Q3リリース予定



Intersight Kubernetes Service (IKS)

さらに将来、マルチクラウド環境をサポート

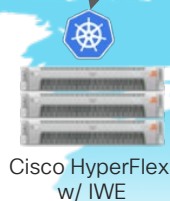


展開

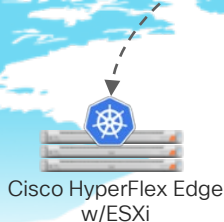
Kubernetesクラスタをクラウド管理で、ハイブリッド/マルチクラウド環境へ

管理

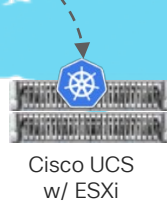
グローバルに展開されたKubernetes クラスタのライフサイクル管理を単一のクラウドポータルで提供



Cisco HyperFlex w/ IWE



Cisco HyperFlex Edge w/ ESXi



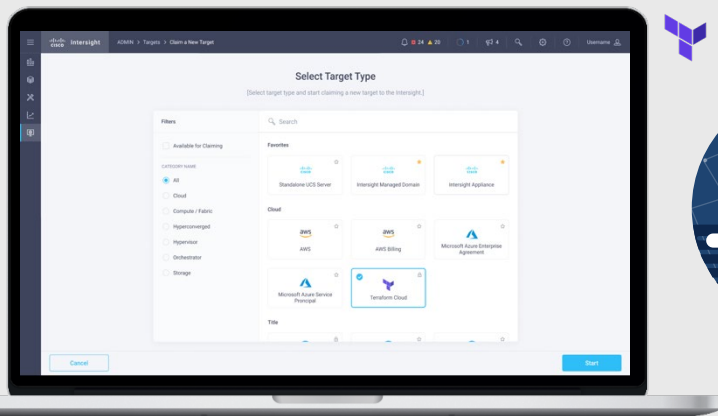
Cisco UCS w/ ESXi



マルチハイパーバイザー/ ハイブリッドクラウド環境をサポート予定

Intersight Service for HashiCorp Terraform (IST)

ハイブリッド・クラウドにおけるセキュアで簡素化されたIaC環境を提供



HashiCorp
Terraform Cloud



Terraform Cloud Businessとの安全な統合
シングルサインオン、安全なオンプレミス・アクセス

オーケストレーションのコントロールをSaaS型で提供
共通の自動化フレームワークにAPIを統合

DevOpsとIT Opsのギャップを埋める
どこでも一貫したIaC環境を提供

複雑なオペレーションを排除

ハイブリッドクラウド環境に
対応

継続的なアプリケーション・イ
ノベーションを加速する

* 2021年Q2リリース予定

Intersight Infrastructure Service (IIS)



Intersight Infrastructure Service (IIS)

オンプレミスのハードウェアをクラウドから統合管理する SaaS サービス

直感的



エンハンス
サポート



プロアクティブ
ガイダンス



セキュリティ
スケーラビリティ



SaaS または
Appliance



SaaS による提供
シンプルなツール



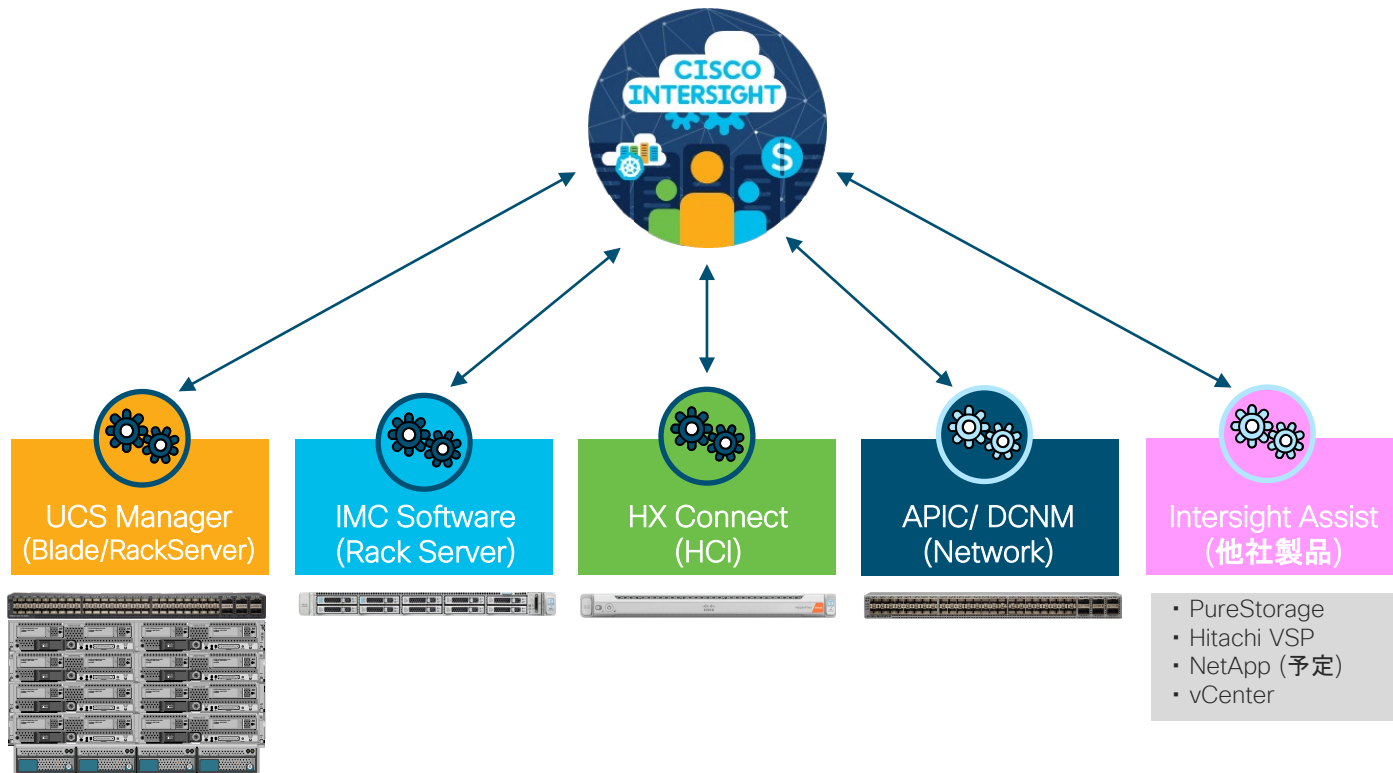
サーバ管理アクション
インテリジェンス



インターネット環境さえあれば、どこからでもアクセス可能

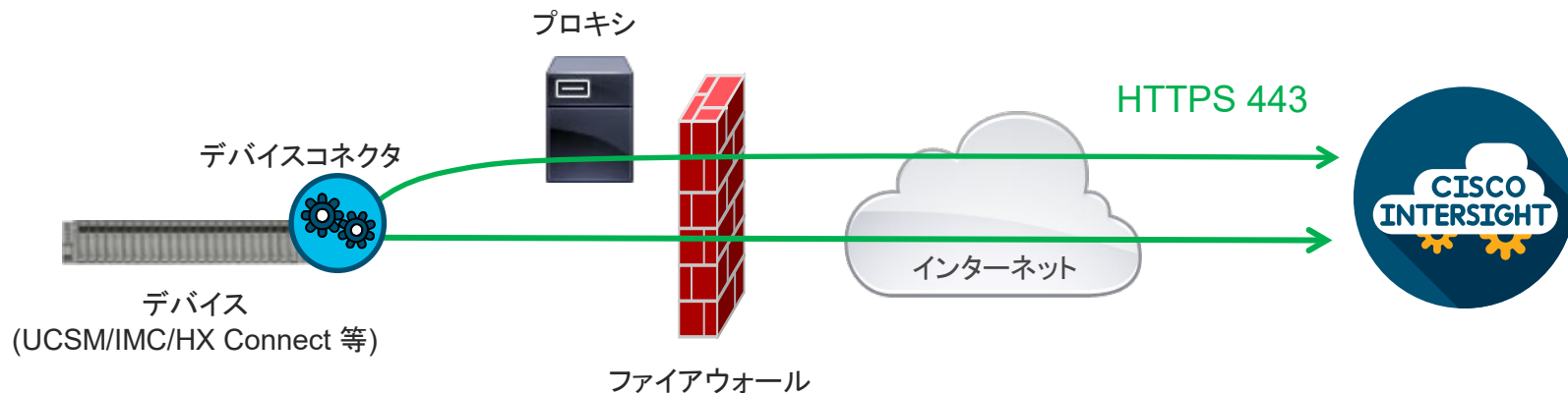
Intersight につながるデバイス

各管理ソフトウェア上で、「ID」と「コード」を発行して、それを Intersight に登録するだけ



Intersight デバイス通信要件

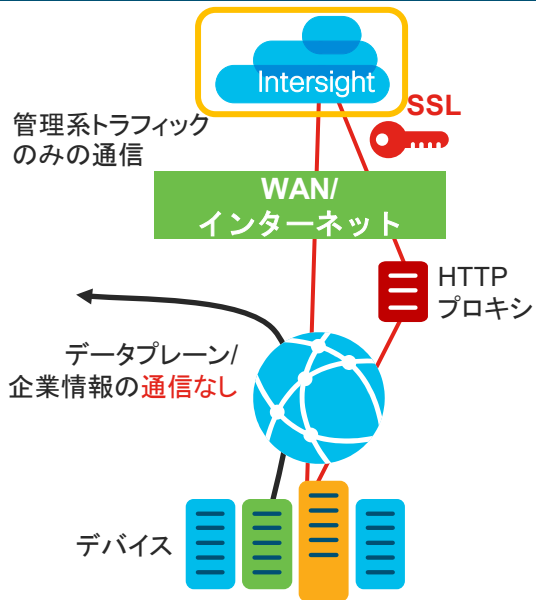
- デバイス側から開始する通信のみ
- Long Lived Web Socket (HTTPS 443)
- HTTPS Proxy 環境もサポート
- **DNS 必須** ('svc.intersight.com' の解決が必要)



Intersight の提供モデル

お客様の環境に合わせて、3つのパターンを用意

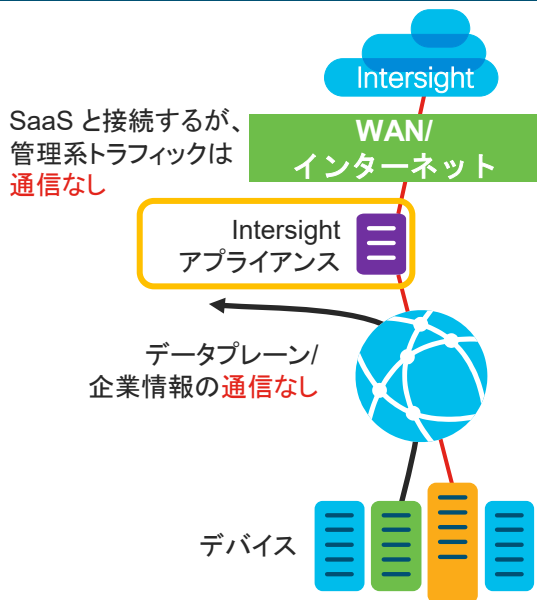
SaaS



デバイスから直接 or Proxyでクラウド接続、CI/CD 開発

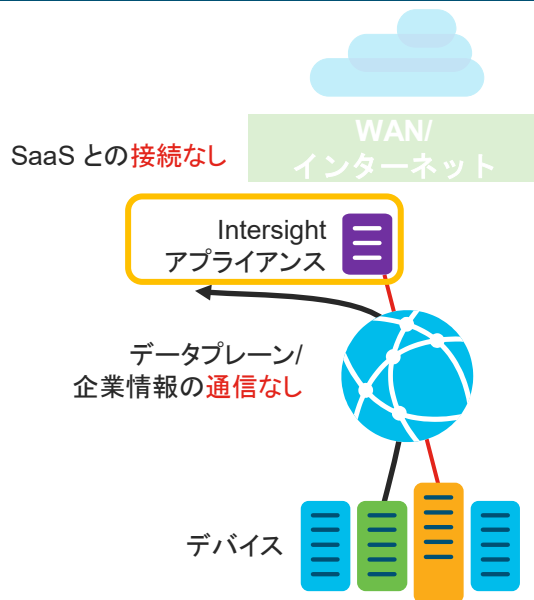
機能性

Connected Virtual Appliance



アプライアンスがクラウドに接続、新機能は遅れて追加される。

Private Virtual Appliance



クラウド接続は必要ないが、一部の機能は利用できない。

セキュリティ

Intersight の主な機能



Intersight ライセンス

Base

- ・ SaaS版のみ
- ・稼働状態・構成情報をグローバルに監視
- ・ダッシュボードのカスタマイズ
- ・仮想 Keyboard-Video-Mouse (vKVM)
- ・タグ付けと基本的な検索機能
- ・製品毎の管理ツールの呼び出し (UCS Manager, IMC, HyperFlex Connect, 及び UCS Director)
- ・HyperFlexのインストール、アップグレード作業を簡単な操作性で提供
- ・Connected TAC: 初動のログ収集、ケース作成、契約状態の表示
- ・ロールベースのアクセス制御、シングルサインオン (SAML)、Multi-Factor Authentication (多要素認証)

Essentials

- ・ Baseエディション機能全て含む
- ・ SaaS版と Virtual Appliance版対応
- ・強化されたグローバル検索機能及び詳細な構成情報
- ・サーバ HCLの整合性チェック及びドライババージョンの推奨
- ・ServiceNow との連携
- ・Cisco Intersight Mobile アプリ
- ・UCS Cシリーズ ラックサーバ スタンドアロン構成の管理 (M4 以降)
- ・プロファイルによるポリシーベース管理
- ・ファームウェア管理 (サーバ、S3260、FI、ブレード)
- ・サーバ管理操作 (Power On/Off, reboot, など)
- ・HX Edge Cluster Upgrade
- ・HX ストレージキャパシティ計画
- ・UCS Central と IMC Supervisor ノードライセンス含む

Advantage

- ・ Essentialsエディション機能全て含む
- ・ SaaS版と Virtual Appliance版対応
- ・トンネル対応 仮想 Keyboard-Video-Mouse (vKVM)
- ・他社製品の登録 (Pure Storage、VMware vCenter)
- ・ストレージ ウィジェット (Pure Storage対応)
- ・ストレージ構成情報 (Pure storage: 容量、利用状況)
- ・マルチドメイン構成情報把握: サーバ、仮想状況、ストレージ
- ・仮想環境のインベントリ管理
- ・OSインストール機能
- ・アドバイザー

ストレージ構成管理に対応

Premier

- ・ Advantageエディション機能全て含む
- ・ SaaS版と Virtual Appliance版対応
- ・ストレージの運用自動化機能 (Pure Storage、Hitachi)
- ・仮想サーバの運用自動化機能
- ・Workflow Designer
- ・UCS Director ノードライセンス含む

オーケストレーションに対応

SaaS版のみの提供 無償

SaaS 版 / Connected VA 版 / Private VA 版

Intersight help センター内ライセンスによる提供機能対応情報: https://intersight.com/help/getting_started#licensing_requirements
Intersight Workload Optimizer は別ライセンスとなります。

① : 構築

リモートコンソールによるサーバセットアップ

Intersight から個別の管理ツール (IMC/UCS Manager/HX Connect) を開き、サーバのセットアップや状態の確認が可能です。Intersight を経由してトラフィックを Tunneling するため、VPN 接続は必要なく、リモートからの作業が可能です。

サーバアクションメニューから選択

- UCSMの起動
- KVMの起動
- Launch Tunneled vKVM

Cisco IMC

UCS Manager

HX Connect

リモートコンソール - Tunneled vKVM

UCS サーバのセットアップには、一般的に管理マネージャーの他にサーバの KVM も必要になりますが、Intersight は管理マネージャーに加え、KVM の呼び出しにも対応したので、VPN 不要でサーバセットアップが可能です。



スタンドアロン UCS のポリシーベース設定

サーバ設定を抽象化したポリシーとして管理することでサーバ設定を簡素化する機能

BIOS ポリシー

SNMP ポリシー

Disk Group ポリシー etc.

Virtual Drive Configuration

RAID Level: RAID1, Number of Slots per Span: 2

Local Disk Configuration

— Disk Group (Span 0)

Slot Number * Required

Enable Disk Encryption

Set Disks in JBOD state to Unconfigured Good

複数のサーバに同じポリシーを適用して、ベースラインのコンフィグが可能。

プロフィール1

物理サーバ1に適用



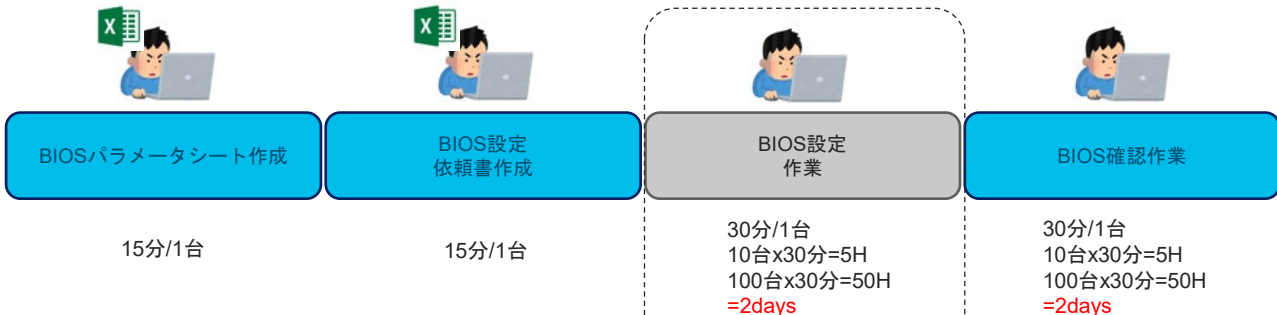
プロフィール2

物理サーバ2に適用



参考: BIOS 設定を Intersight で自動化する場合の工数削減例

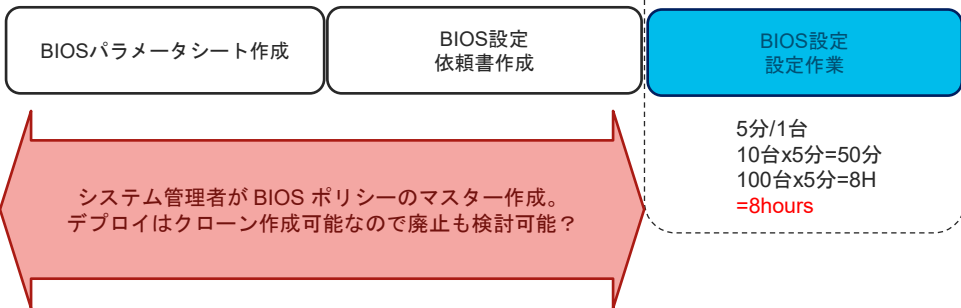
他社製サーバ
従来型のサーバ



Total

1台
1.5H
100台
6days

Cisco Intersight
+
Cisco UCS



1台
10分以内
100台
8時間以内

主に人による作業



紙でのやり取り

参考: Intersight へのデバイス登録作業の自動化

REST API を利用すると電源投入から Intersight 登録までの自動化も可能 (要作り込み)

事前準備

(Intersightが使える、DHCPサーバは既にあるという前提)

UCSサーバ

IPアドレス: DHCPより取得

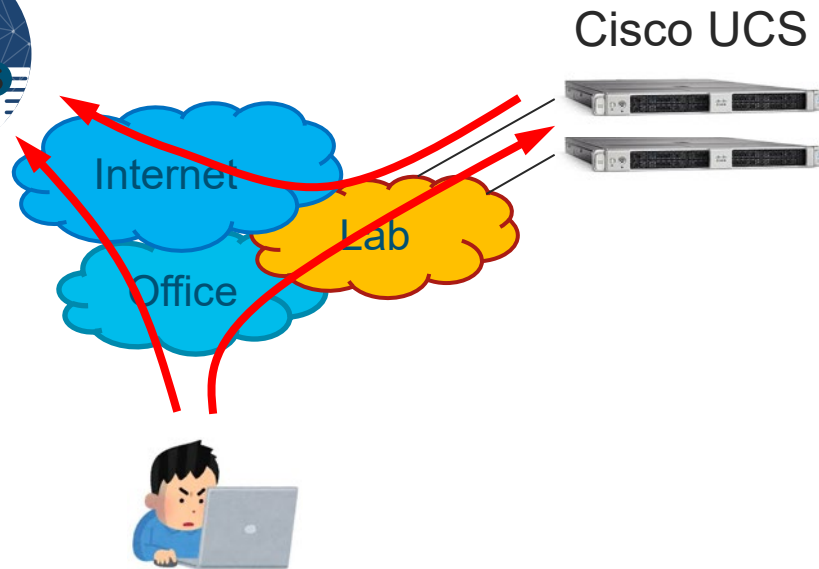
ユーザー名: Admin (デフォルト)

パスワード: password (デフォルト)

ラック位置とシリアル番号

シリアル番号はUCSの前面タグに記載 (バーコードも記載あり)

#RU1: #Serial1
#RU2: #Serial2
#RU3: #Serial3
#RU4: #Serial4
#RU5: #Serial5
#RU6: #Serial6
#RU7: #Serial7



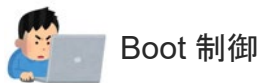
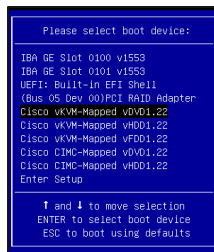
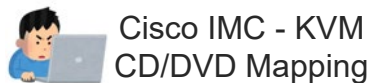
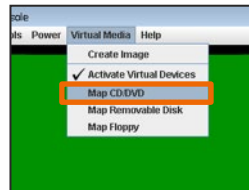
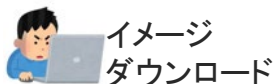
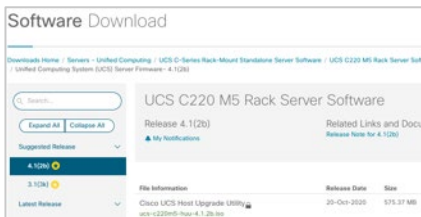
YouTube: Intersight Automated Device Claim
<https://youtu.be/MldPSHPYsiU>

Intersight によるファームウェアアップグレード

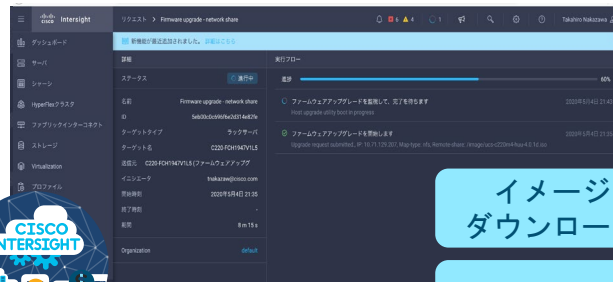
従来手動で行っていた以下の作業を自動化し、作業手順を簡素化

- Cisco Software Central からのファームウェアイメージをダウンロード、およびデバイスへのアップロード
- ファームウェアイメージのサーバへのマウント

Cisco IMC でのファームウェアアップグレードの作業イメージ:



Intersight による自動化:



イメージ
ダウンロード

自動マウント

分離された複雑なステップ、手動での実施

定義されたワークフローにより簡単に実施

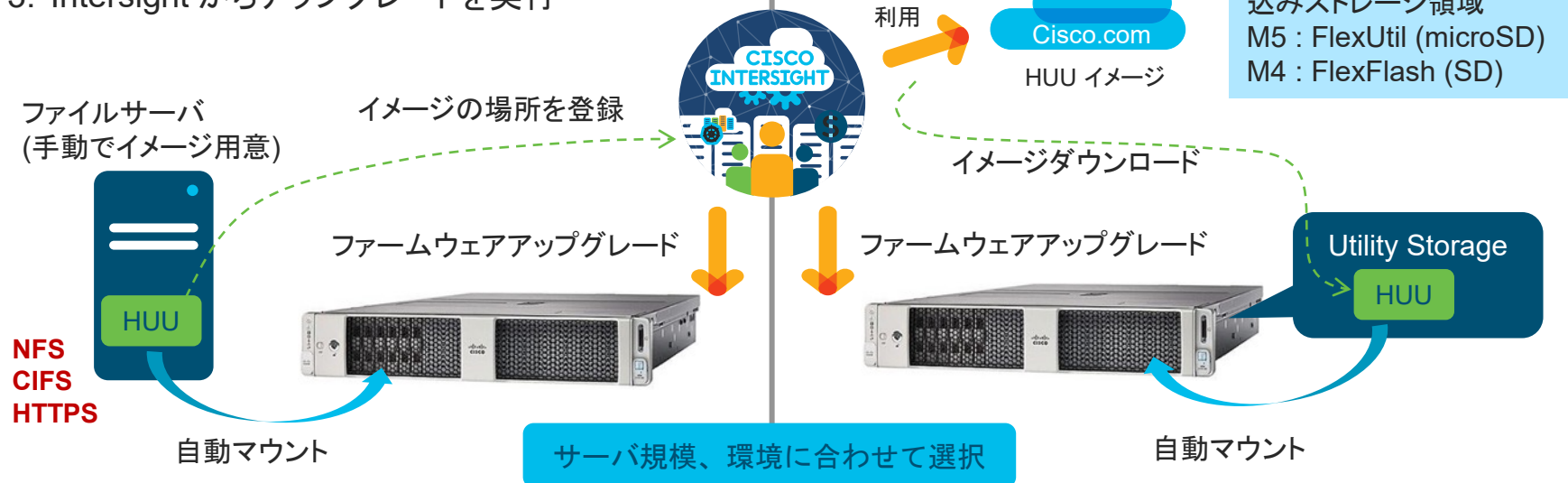
Intersight によるファームウェアアップグレード

Utility Storage がない場合

1. データセンター内にファイルサーバを用意し、HUU イメージを置いておく
2. Intersight にイメージへのアクセス情報を登録
3. Intersight からアップグレードを実行

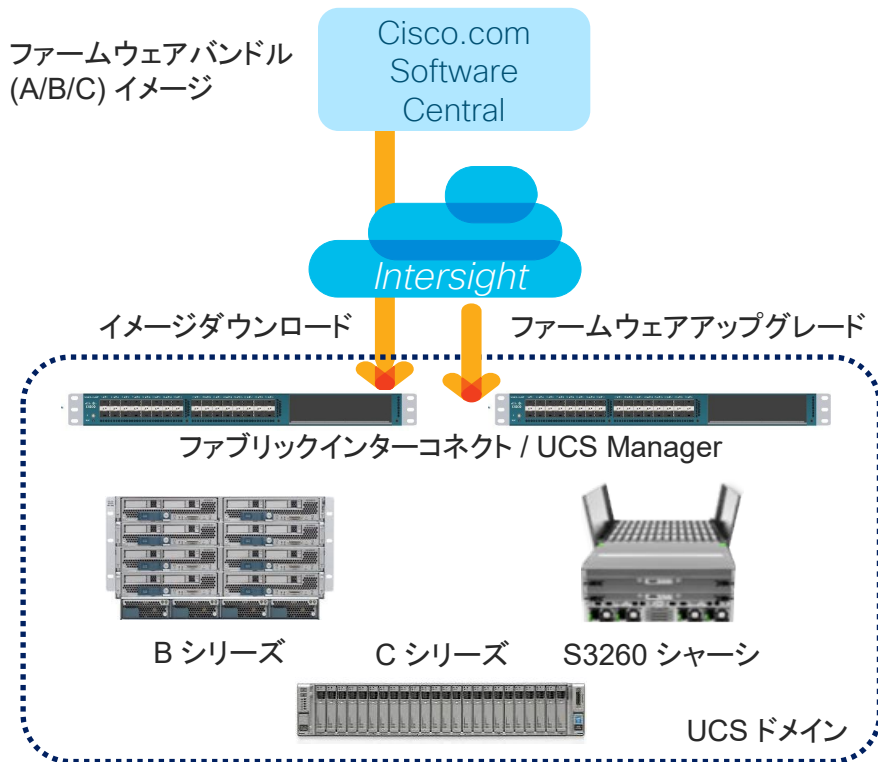
Utility Storage がある場合

1. Intersight からアップグレードを実行



UCS ドメインのファームウェアアップグレード

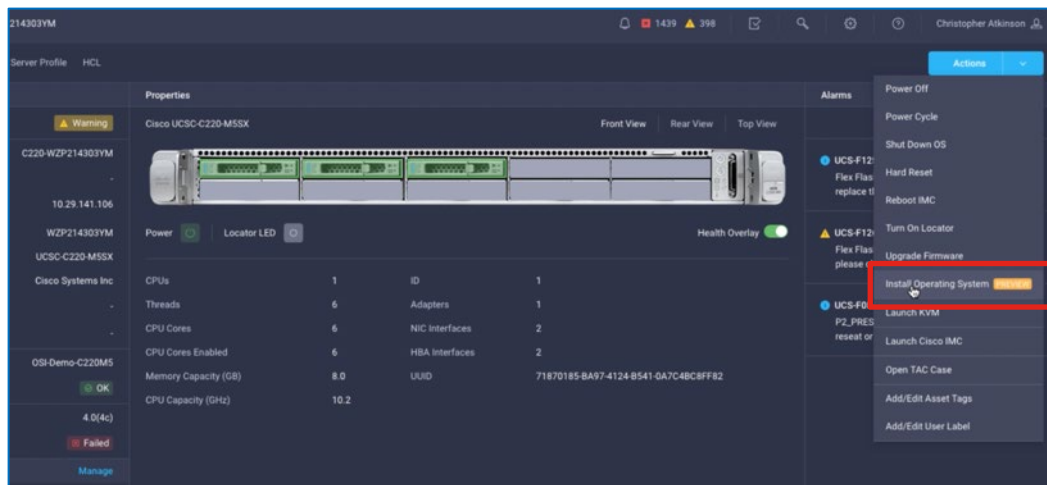
FI および FI 管理のデバイスのファームウェアを Intersight からアップグレードする機能



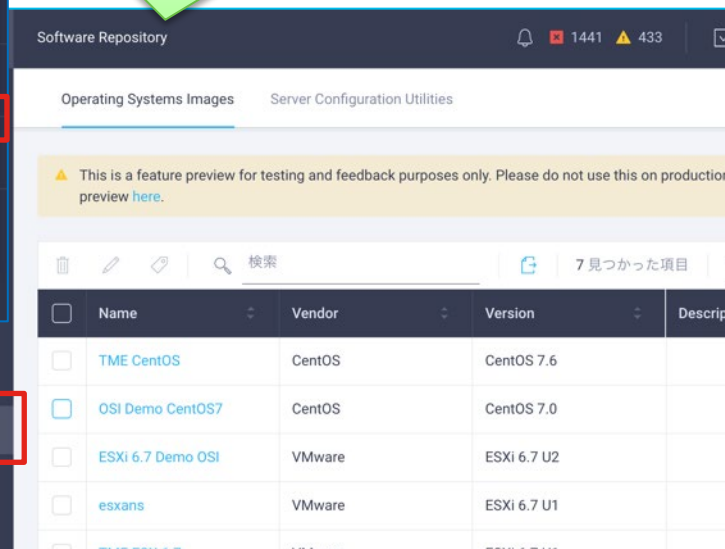
- (Intersight Managed Mode でない) FI および FI Managed サーバのファームウェアアップグレードを実施可能に
- ファームウェアイメージは Intersight が Cisco.com からダウンロードし、Fabric Interconnect 内のリポジトリにアップロード
- デフォルトで Fabric Evacuation を選択
- Associated 状態のサーバのみアップグレード対応可能
- アップデートテンプレート利用サーバは非対応

OS インストール機能

あらかじめ OS イメージをオンプレ環境に用意しておけば、SCU (Server Configuration Utility) と連携して、Intersight からスタンドアロン UCS への OS のインストールが可能



レポジトリに配置した
OS イメージを SCU
を利用してインストール

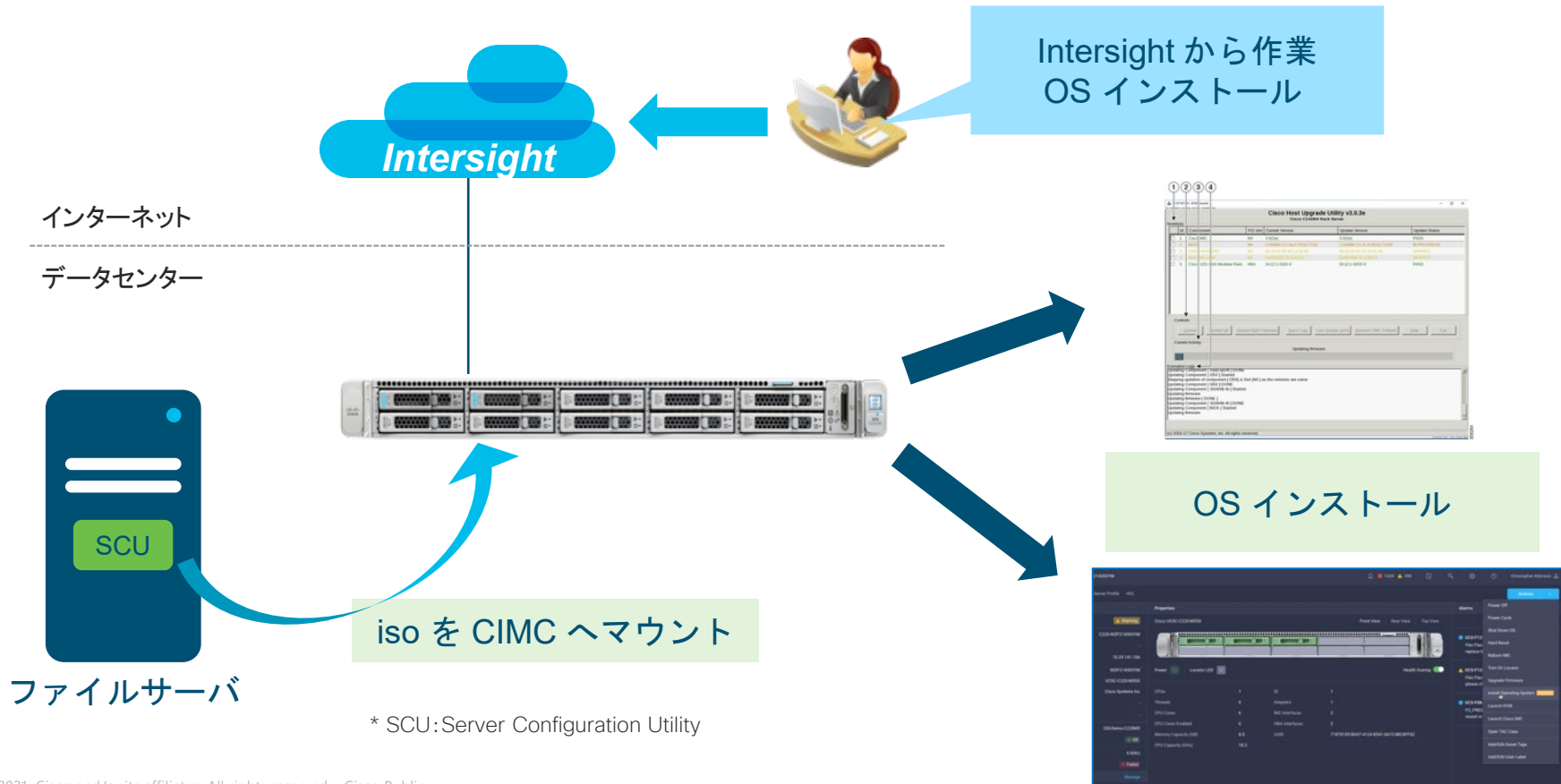


©OSインストール操作・デモ動画

<https://www.youtube.com/watch?v=fczqCUva5io>

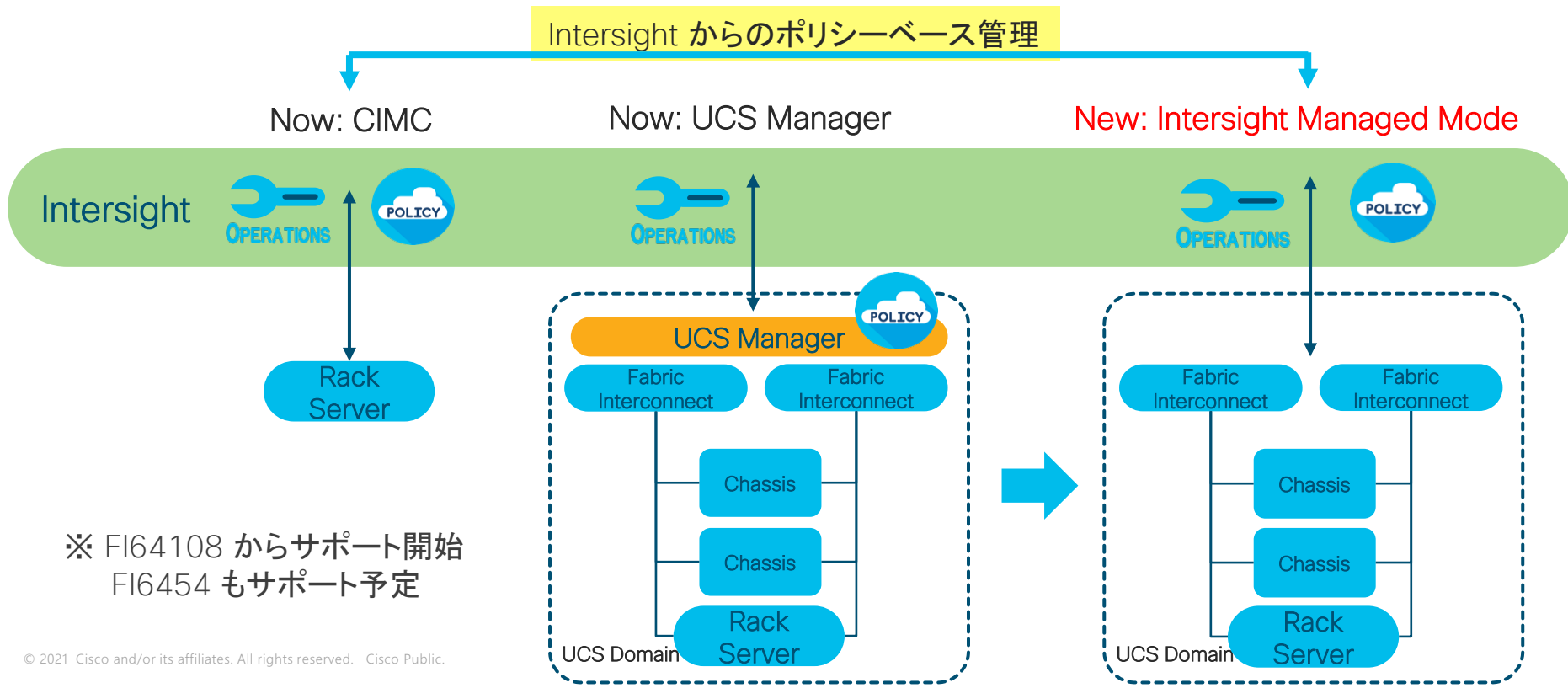
<https://www.youtube.com/watch?v=MQezr2OM42Y>

(参考) Intersight から OS インストールのイメージ



Intersight Managed Mode

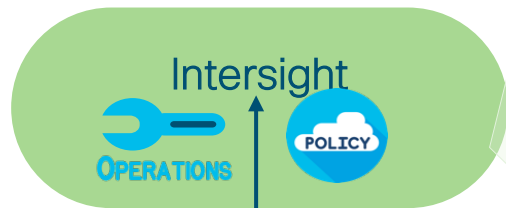
FI 配下の UCS ドメインを UCS Manager ではなく、Intersight から設定管理操作する機能。FI 配下のサーバもスタンドアロンサーバ同様グローバルに一元管理が可能。



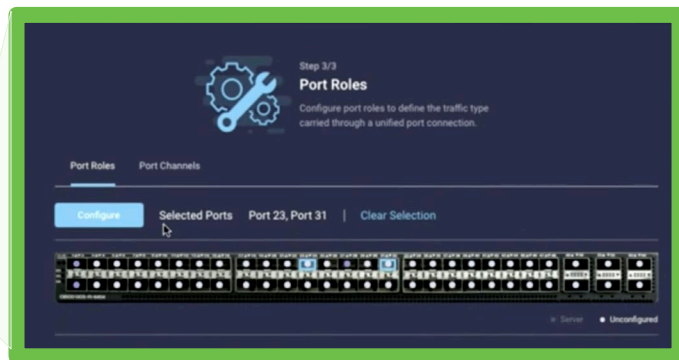
※ FI64108 からサポート開始
FI6454 もサポート予定

Intersight Managed Mode - 設定イメージ

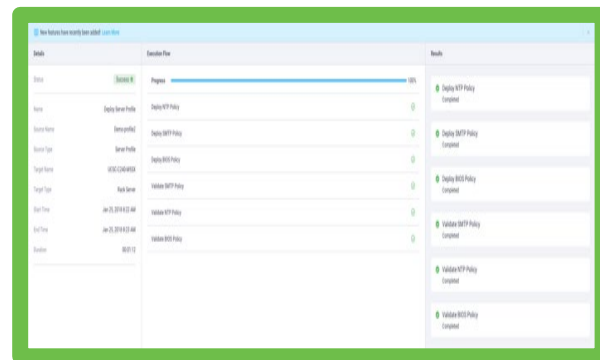
Intersight から FI ポート設定や
サーバポリシーを管理



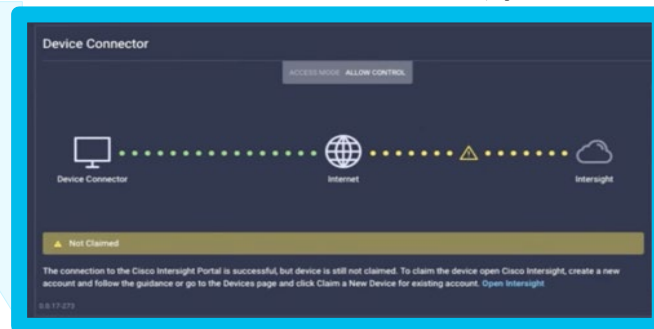
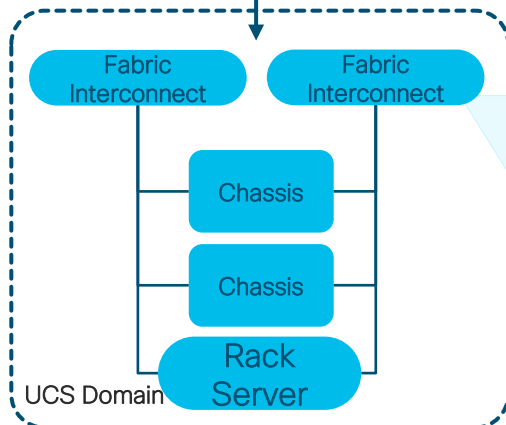
FI ポート設定



ポリシー/プロファイル設定



ローカル環境では
Device Connector の登録だけ



HyperFlex のインストール (クラウド デプロイ)

Intersight から HyperFlex クラスタをインストールする機能。HX Installer が不要で、クラウドからデプロイすることが可能。



- 4.0 以降* から展開可能な**クラウドベース**のインストーラ
- **複数のクラスタ**を同時に展開可能
- インストールに必要な設定はクローン可能

*サポートバージョンは Software release に応じて変更される可能性があります。

- VMware ハイパーバイザのみ対応
- HyperFlex システム および HX Edge に対応
- M4 と M5 をサポート
- Stretched クラスタは構成不可

https://intersight.com/help/features#hyperflex_cluster_management

②：運用

デバイス全体の状態がひと目で分かるダッシュボード

ウィジェットは現在31個用意されていて、画面のカスタマイズ、複数画面作成可能



主な情報:

ヘルスチェック

インベントリ

使用バージョン

ストレージ使用率

HCL

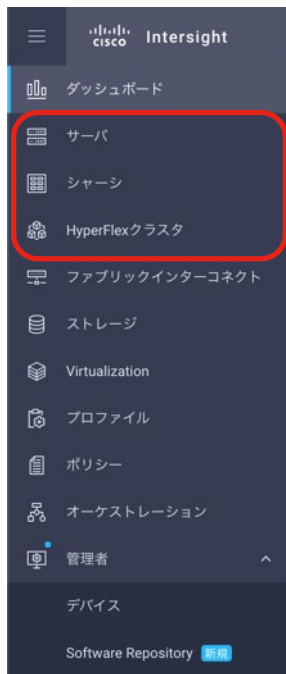
保守契約

登録デバイスの一覧表示

全体の情報がすぐに
分かる統計情報

モデルやユーザタグに
よる検索機能

健全性、契約状態、
管理 IP、モデル等



Dashboard Summary Cards:

- Health:** 51 (警告 6, クリティ... 1, 正常 44)
- 電源:** On 51
- HCLステータス:** Not Listed 10, Incomplete 18, Validated 24
- モデル:** 51 (C220 M5SX 19, HXAF220C M5... 16, HX220C M4S 4, その他 12)
- 契約ステータス:** Not Covered 18, Ac...

Table of Server Details:

名前	ヘルス	契約ステータス	管理IP	モデル	C. ①	メモ...	UCSドメイ...	HX cluster...	サー...	ユーティ...	ファ...	
dCloud	Healthy	Active	198.19.25...	HX220C...	62.4	512.0	dCloud-L...	LON-HX-C...	org-root/orç		4.0(2l)	...
dCloud	Healthy	Active	198.19.25...	HX220C...	62.4	512.0	dCloud-L...	LON-HX-C...	org-root/orç		4.0(2l)	...
dCloud	Healthy	Active	198.19.25...	HX220C...	62.4	512.0	dCloud-L...	LON-HX-C...	org-root/orç		4.0(2l)	...
dCloud	Healthy	Active	198.19.25...	HX240C...	60.0	384.0	dCloud-S...	SJC-HX-C...	org-root/orç		4.0(2l)	...
dCloud	Healthy	Active	198.19.25...	HX240C...	60.0	384.0	dCloud-S...	SJC-HX-C...	org-root/orç		4.0(2l)	...
dCloud	Healthy	Active	198.19.25...	HX240C...	60.0	384.0	dCloud-S...	SJC-HX-C...	org-root/orç		4.0(2l)	...
dCloud	Healthy	Active	198.19.25...	HX240C...	60.0	336.0	dCloud-S...	SJC-HX-C...	org-root/orç		4.0(2l)	...
esxi-a	Healthy	Active	10.1.64.73	UCSC-C2...	100.8	384.0					4.0(1d)	...
esxi-a	Healthy	Active	10.1.64.71	UCSC-C2...	100.8	384.0						...

サービス契約状態の表示

デバイスのサービス契約ステータス (契約タイプ、契約期間等) をインベントリに紐づけて Intersight 内に表示する機能

サーバ個別のサポート契約情報の表示

名前	ヘルス	契約ステータス	管理IP	モデル	C. ID
dClou	Healthy	Active	198.19.25...	HX220C-...	62.4
dClou	Healthy	Active			2.4
dClou	Healthy	Active			2.4
dClou	Healthy	Active			0.0
dClou	Healthy	Active			0.0
dClou	Healthy	Active			0.0
dClou	Healthy	Active			0.0
dClou	Healthy	Active	198.19.25...	HX240C-...	60.0
esxi-a	Healthy	Active	10.1.64.73	UCSC-C2...	100.8

Active

契約 ID: 202440144

開始日: 2019年11月28日 09:00

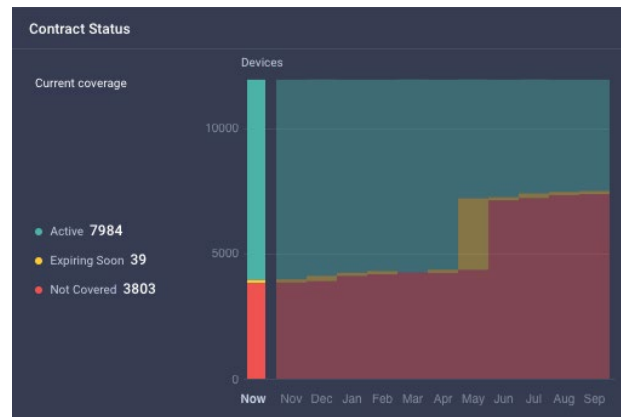
終了日: 2021年11月28日 09:00

サービスレベル: SNT

契約タイプ: SNTC 8X5XNBD

[CCW-Rを起動](#)

デバイス全体のステータスサマリ



凡例: Active – Expiring Soon – Not Covered

Cisco のデータベースと通信して、インベントリと契約情報を紐付けし、簡単に把握。契約期間が1ヶ月未満となった場合はアラート発生。API を利用すると、簡単に情報抽出も可能。

互換性リスト (HCL) の表示

サーバ > esxi-aci-10.dcv.svpod

全般 インベントリ サーバプロファイル HCL

HCLステータス ▲ リスト表示なし

推奨されるドライバの取得

HCL検証

1 サーバハードウェアのコンプライアンス Validated

サーバモデル UCSC-C220-M5SX

CPU Intel(R) Xeon(R) Platinum 8160M CPU @ 2.10GHz

サーバのファームウェアバージョン 4.0(2c)

2 サーバソフトウェアのコンプライアンス Validated

OSベンダー VMware ESXi

OSバージョン 6.5.0.2

3 アダプタのコンプライアンス ▲ リスト表示なし

▲ 1つ以上のコンポーネントの互換性のないコンポーネントファームウェアとドライバ。詳細はこちら ヘルプセンター

3 見つかった項目

モデル	ファームウェア	ドライバプロ...	現在のドライバ	推奨されるドライババージョン
Cisco(R) LO...	0x80000AF9...	ixgben	-	1.7.15-10EM.600.0.0.2768847
Cisco 12G M...	50.6.0-1952	lsi_mr3	7.703.19.00...	7.706.09.00-10EM.650.0.0.459867
UCSC-MLOM-...	5.0(2a)	fnic	-	1.6.0.52-10EM
UCSC-MLOM-...	5.0(2a)	nenic	1.0.25.0-10E...	1.0.31.0-10EM

推奨されるドライバの取得

OSベンダー* VMware (Current)

OSバージョン* ESXi 6.5 U2 (Current)

推奨されるドライバ

ドライバISOのダウンロード

推奨ドライバを提示し、ダウンロードのアクションが取れる

サーバ・OS・ドライバが紐付いてツリー状に表示されるため、関連した情報を一目で確認できる！

アドバイザー情報の表示

登録機器に影響する可能性のある Security Advisory、Field Notice を表示する機能

The image shows two screenshots of the Cisco Security Center interface. The left screenshot shows a list of advisories with a red box highlighting a specific entry: 'cisco-sa-20170405-cimc' with a severity of 'Medium'. A red arrow points from this entry to the right screenshot, which shows the detailed view of this advisory. The detailed view includes a 'General' section with the title 'Cisco Integrated Management Controller Redirection Vulnerability', a 'Summary' section describing the vulnerability, and an 'Affected Devices' table listing 15 devices.

事象の詳細、影響する可能性があるデバイス一覧、回避策等を確認できる。Acknowledge も可能。

サポート中のアドバイザーの内容
Security PSIRT :
https://intersight.com/help/resources/cisco_security_advisories#supported_cisco_security_advisories
Field Notice :
https://intersight.com/help/resources/cisco_field_notices

Name	Type	Model / Type	Firmware / Version
UCSM-1-7	サーバ	UCSB-B200-M3	3.1(24c)
UCSM-1-6	サーバ	UCSB-B200-M3	3.1(24c)
UCSM-1-2	サーバ	UCSB-B200-M3	3.1(24c)
UCSM-1-8	サーバ	UCSB-B200-M3	3.1(24c)

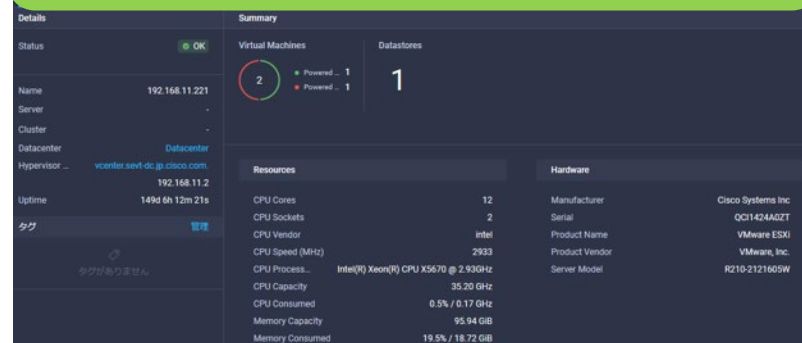
VMware vCenter 連携 - インベントリ

vCenter と連携することで、Intersight から vCenter の情報を取得可能になり、簡単にサーホストやデータストアのハードウェア情報にアクセス可能になります。

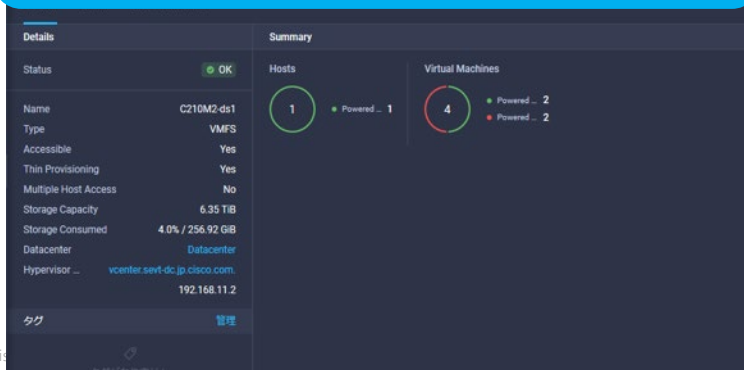
ESX Cluster単位



ESX Host単位



データストア単位



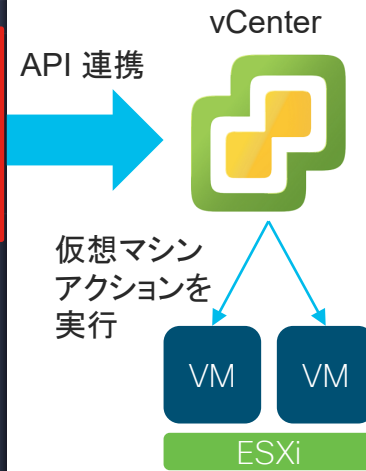
仮想マシン単位



VMware vCenter 連携 - API によるアクション実行

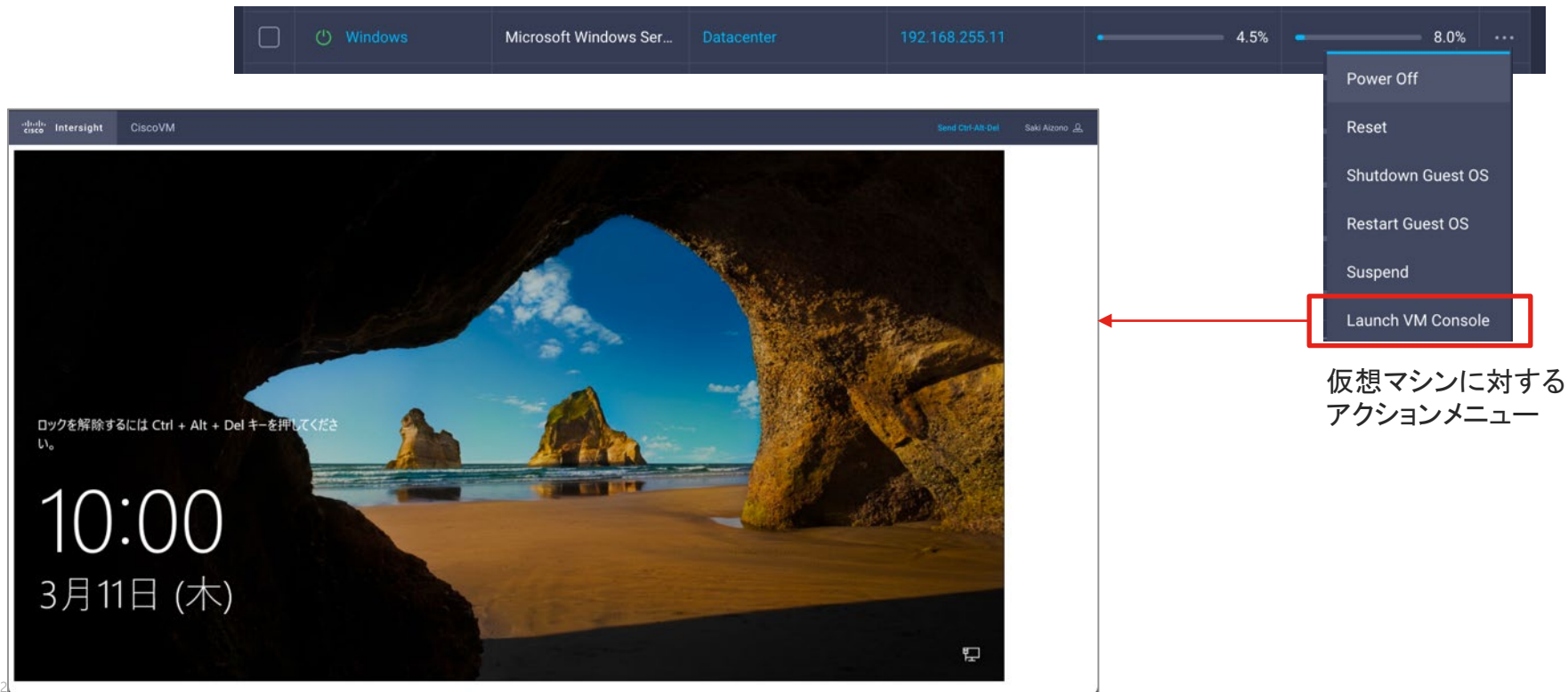
vCenter 管理下の仮想マシンの電源操作等が Intersight から vCenter API を利用して実行可能

The screenshot shows the Cisco Intersight interface for a virtual machine named 'vlan11-desktop-win'. The left sidebar has a red box around the '仮想化' (Virtualization) menu item. The main content area shows the VM's status as 'Powered On' and a list of actions in a dropdown menu, with a red box around the 'Power Off', 'Reset', 'Shutdown Guest OS', 'Restart Guest OS', and 'Suspend' options. The interface also displays summary statistics for hosts, datastores, and networks, as well as resource usage and guest information.



VMware vCenter 連携 - VMRC 接続

Intersight から VMRC (VMware Remote Console) を開き、仮想マシンコンソールにアクセス、作業を行うことが可能



The screenshot displays the VMware vCenter interface. At the top, a navigation bar shows the VM name 'Microsoft Windows Ser...', the host 'Datacenter', and the IP address '192.168.255.11'. Below this, a progress bar indicates 4.5% and 8.0% completion. The main console area shows a Windows desktop with a scenic background image of a cave opening to a beach. The desktop includes a clock showing '10:00' and the date '3月11日 (木)'. A message at the top left of the desktop reads 'ロックを解除するには Ctrl + Alt + Del キーを押してください。'. An action menu is open on the right side of the console, listing options: 'Power Off', 'Reset', 'Shutdown Guest OS', 'Restart Guest OS', 'Suspend', and 'Launch VM Console'. The 'Launch VM Console' option is highlighted with a red box, and a red arrow points from this box to the console area. Below the menu, the text '仮想マシンに対するアクションメニュー' (Action menu for the virtual machine) is displayed.

ストレージデバイス連携

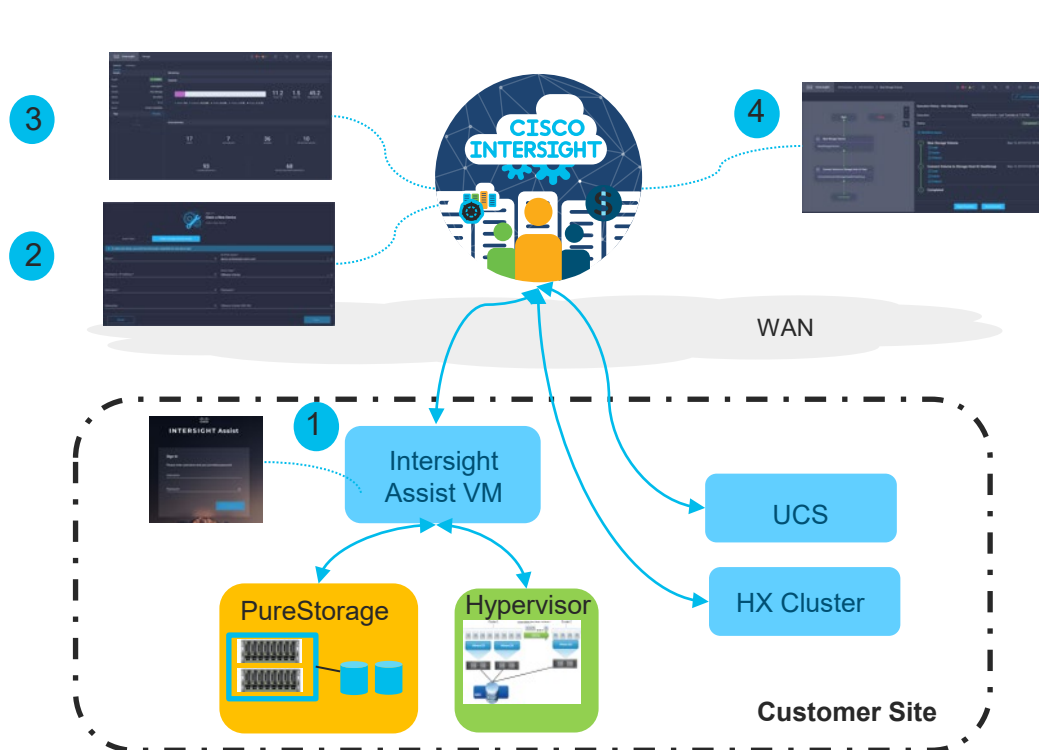
インベントリ

Advantage ライセンス

オーケストレーション

Premier ライセンス

Pure Storage FlashArray のインベントリ情報が Intersight から確認できるようになります。
Workflow Designer を利用してのオーケストレーションも可能です。



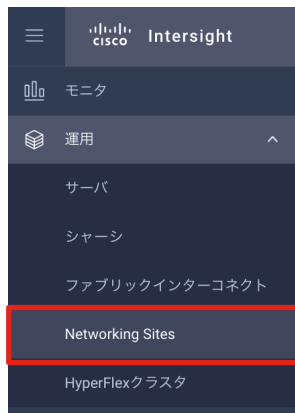
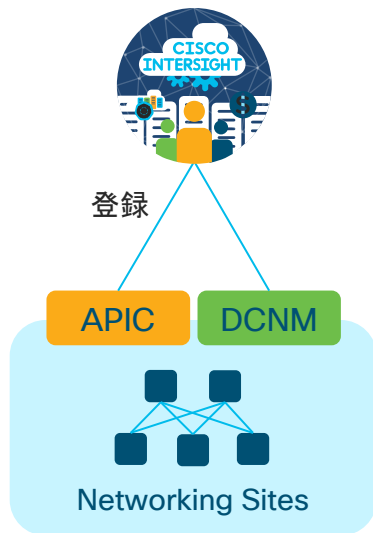
2021/3 Hitachi 連携GA
Q2CY2021 NetApp サポート予定

Cisco Intersight より以下を実施:

- 1 Intersight Assist VM を顧客データセンター内に構築
- 2 PureArray と Hypervisor を Intersight に登録
- 3 Intersight からストレージのインベントリ情報が見える
- 4 ワークフローを使ってコンピューティング、ストレージ、仮想化基盤に渡るオーケストレーションを実施

APIC/DCNM インベントリ連携 (Nexus Dashboard Base)

APIC/DCNM コントローラを Intersight に接続し、コントローラサーバおよび Network スイッチのインベントリ管理が可能。



コントローラ

Name	PID	Serial	Firmware Version	CPU Utilization	Last Update
apic1	APIC-SERVER-M3	WZP232	5.1(3e)	25.0%	5時間前
apic2	APIC-SERVER-M3	WZP232	5.1(3e)	29.0%	5時間前
apic3	APIC-SERVER-M3	WZP232	5.1(3e)	17.0%	5時間前

スパイン

Name	Contract Status	PID	Serial	Version	CPU Utilization	Last Update
Site1-Pod1-Spine1	Not Covered	N9K-C9364C	FDO21	n9000-15.1(3e)	6.3%	5時間前
Site1-Pod1-Spine2	Not Covered	N9K-C9332C	FDO24	n9000-15.1(3e)	6.1%	5時間前
Site1-Pod2-Spine1	Not Covered	N9K-C9332C	FDO234	n9000-15.1(3e)	6.9%	5時間前

リーフ

Name	Contract Status	PID	Serial	Version	CPU Utilization	Last Update
Site1-Pod1-Leaf1	Not Covered	N9K-C93180YC-FX	FD0214	n9000-15.1(3e)	5.1%	5時間前
Site1-Pod1-Leaf2	Not Covered	N9K-C93180YC-FX	FD0214	n9000-15.1(3e)	5.4%	5時間前
Site1-Pod1-Leaf3	Not Covered	N9K-C93240YC-FX2	FD02352	n9000-15.1(3e)	8.6%	5時間前
Site1-Pod1-Leaf4	Not Covered	N9K-C93360YC-FX2	FD02335	n9000-15.1(3e)	9.5%	5時間前
Site1-Pod1-Leaf5	Not Covered	N9K-C93108TC-FX	FD02136	n9000-15.1(3e)	8.5%	5時間前
Site1-Pod1-Leaf6	Not Covered	N9K-C93108TC-FX	FD02136	n9000-15.1(3e)	8.6%	5時間前

スイッチの S/N, PID, Version, CPU-Memory-Disk 使用率情報等を確認できる

③ : 監視

デバイスのヘルスチェック/アラーム情報へ簡単アクセス

The image shows a two-step process for accessing device health and alarm information in Cisco Intersight. The first step shows the dashboard with a callout pointing to the alarm notification icon. The second step shows the alarm details page with a callout pointing to a specific alarm entry in a table.

① アラームをクリック

② 見たい項目をクリック

③ 詳細情報が表示される

重大度	日時	コード	送信元のタイプ	ソース名	コンポーネント	メッセージ
	2019年12月10日 04:28	UCS-F0185	スタンドアロンM5サーバ	esxi-aci-11.dcv.svpod	sys/rack-unit-1/board/memarray-1/mem-23	DDR4_P2_M1_ECC

サーバの障害箇所をグラフィカルに表示



障害発生箇所をすぐに見つけやすい



サーバ内部のコンポーネントのヘルスステータスも表示



HyperFlex のストレージ変動予測 (Capacity Runway)

今後のストレージ容量の変動を予測し、どれくらいで増設が必要になるかの目安に使うことができる。



スマホさえあれば、どこからでも監視が可能

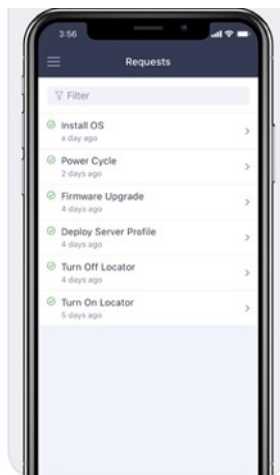
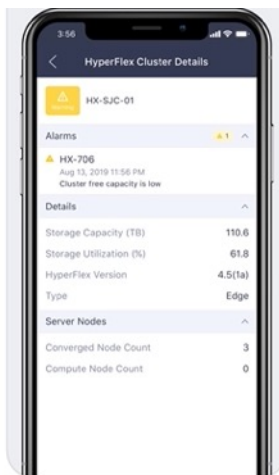
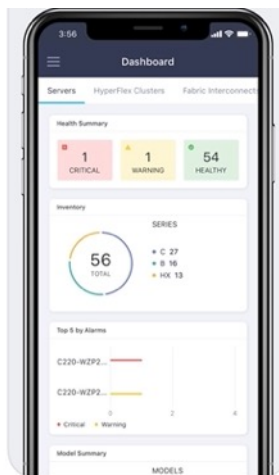
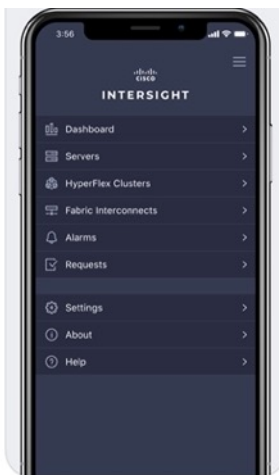
Intersight モバイルアプリケーション

いつでもどこでもモバイル端末からシステムを確認可能

見易いダッシュボードでシステム 이슈を早急に発見

各サーバのステータスやアラームを監視

直近で行われた操作を確認



- Intersight によって管理されるサーバリソースの監視と表示のために最適化されたモバイルアプリケーション
- Apple App Store で現在 iOS デバイス(10.0以降)で利用可能
- Google Play より Andoriod デバイス(5.0以降)にて利用可能

実行可能なアクション:

- ロケータ LED の ON/OFF
- TAC ケースオープン

Apple App Store: <https://apps.apple.com/us/app/cisco-intersight/id1476744248>

Google Play: <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.cisco.intersight.pro>

④ : 障害対応

Connected TAC で障害対応を自動化！

Intersight と Cisco TAC が連携し、これまで手動で実施していた障害時のログ収集や分析を自動化。問題切り分け・障害解析を加速させる。



Connected TAC の効果

実際の TAC ケースの例:



TAC ケースオープン:
XXXXXX244



Tech Support ファイルを
自動的に収集



分析結果を
自動的に生成



既知不具合に一致しており、ファームウェアアップグレードとの見解を提供

2018-12-DD 01:25



+12 分



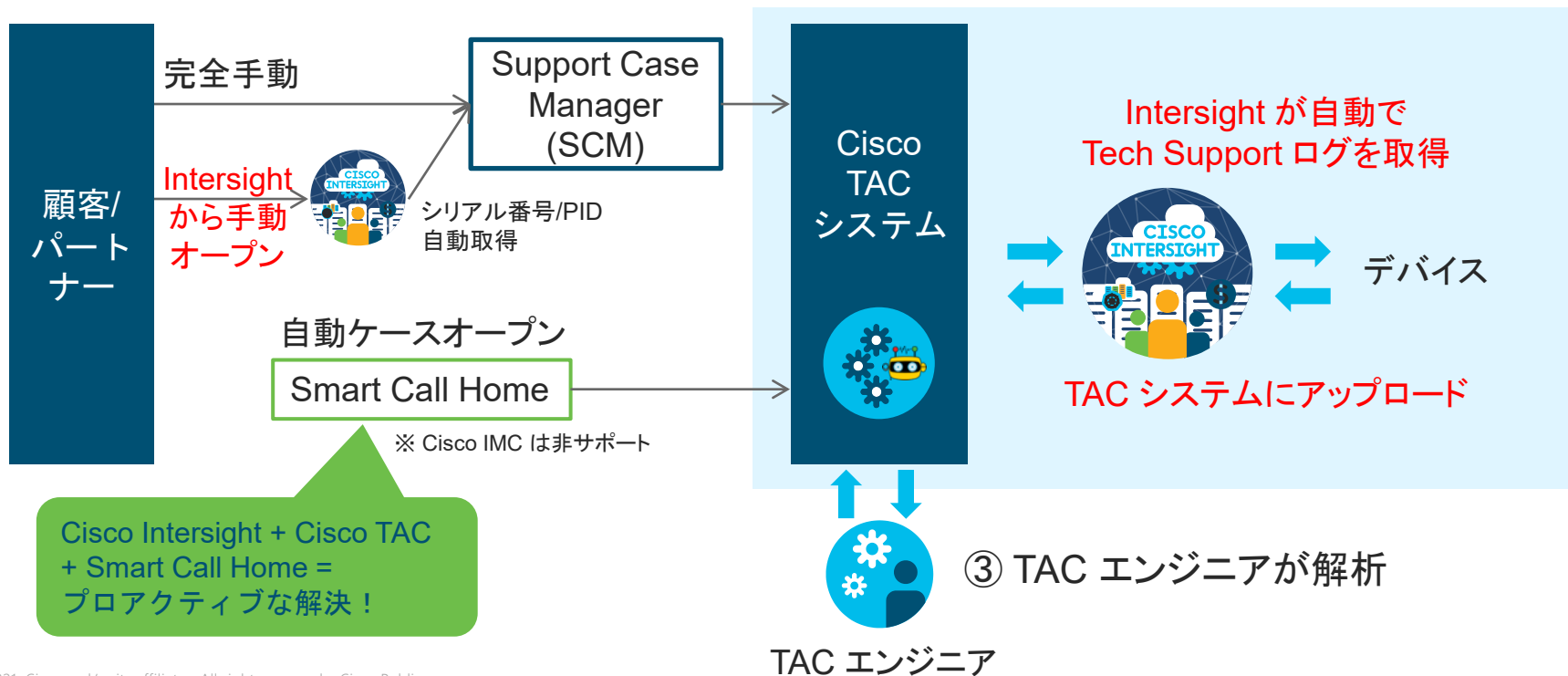
+16 分

問題を診断するまでに要した時間:
合計 28 分

Connected TAC によるログ収集の仕組み

① ケースオープン (手動 or 自動)

② Tech Support ファイルを取得 シリアル番号から Intersight 登録が確認された場合



Intersight からの Tech Support ファイル収集

シリアル番号から Intersight 登録を判断SR
オープン時に Tech Support を自動収集



- Tech Support を取得・閲覧できるのは TAC ケースに関する Cisco エンジニアのみ (顧客、パートナーの実施は不可)
- Tech Support 取得は顧客に通知されない
- デバイス種別により取得する Tech Support の種類が変わる

デバイス種別	取得する Tech Support 種別
B-Series Motherboard	Chassis Tech Support
B-Series VIC/Adapter	Chassis Tech Support
IOM	Chassis Tech Support
Chassis	Chassis Tech Support
Fabric Interconnect	UCSM Tech Support
C-Series Motherboard	CIMC Tech Support
C-Series VIC/Adapter	CIMC Tech Support
FEX	FEX Tech Support

※ SR オープン後、必要に応じて TAC エンジニア側から Tech Support を収集することがあります。

Intersight からの手動 TAC ケースオープン

該当デバイスのアクションから「TAC ケースを開く」を選択

- サーバ
- ファブリックインターコネクト

<input type="checkbox"/>	名前	ヘルス	管理IP	モデル	
<input type="checkbox"/>	esxi-aci-13.dcv.svpod	● Healthy	10.1.64.74	UCSC-C220-M5SX	...
<input type="checkbox"/>	esxi-aci-10.dcv.svpod	● Healthy	10.1.64.71	UCSC-C220-M5SX	KVMの起動
<input type="checkbox"/>	esxi-aci-11.dcv.svpod	● Healthy	10.1.64.72	UCSC-C220-M5SX	TACケースを開く
<input type="checkbox"/>	esxi-aci-12.dcv.svpod	● Healthy	10.1.64.73	UCSC-C220-M5SX	Cisco IMCの起動

TACケースを開く

[続行]をクリックして、Intersight からの選択内容の詳細を含むCisco Support Case Manager (SCM)を開きます。

選択されたサーバ: servername
シリアル番号: [redacted]

キャンセル

続ける

Support Case Manager (SCM) にリダイレクトされるのでログイン。シリアル番号と PID が自動的に入力される。

シリアル番号等を自動的に取得「続ける」を選択



The bridge to possible